



下新倉分館【りんごの棚×障害者サービス】連続展示企画

すべての人に読書の楽しみを!

1月のテーマ



文字が大きく読みやすい!

大活字本

「大活字本」とは文字が大きくて読みやすい本です。文字の大きさは「ポイント」数で表し、通常の単行本は9ポイント、文庫本は8ポイント程度の文字が使われています。一方、大活字本は14～22ポイントの文字が使われています。

弱視の方だけではなく、「最近本の字が小さくて読みにくいなあ」「小さい字を読むのは疲れてしまう・・・」と感じている方も、読書を諦めず、ぜひご利用ください。



(ご参考:この上の文章は20ポイントで書かれています)

一般書の大活字本は分館では「4」の棚に、本館では「1」「2」の棚付近に、児童書の大活字本は「りんごの棚」にあります。